

古今俳諧明題集

二

5
1529
2



明 利
 號 1529
 卷 2



古今俳諧明題集夏部目錄

更衣	并拾	後初葉	二
流佛	三	後二玉	二
當麻祭	三		
松前波	四		
昔暴風	五		
新茶	五		
布穀	後八至		
鹿茸	後十玉		
秋蘿蘭	十一		
蚤	十二		
青蘆	アラスダレ		二
日吉祭	ヒエミツリ		二
千茶園	ヒンダゴ		四
短灰	ヒンカヨ		四
麥殊	ヒエミツリ		五
魚鯨	ヒエミツリ		六
剖葺	ヒエミツリ		十
鰯鰯	ヒエミツリ		十一
螢	ヒエミツリ		後十二玉
鮎	ヒエミツリ		十二
抗摩祭	ツクミツリ		二
加茂祭	カモツリ		二
夏駒寺	ナツノツキ		四
夏月	ナツノツキ		四
新麦飯	ヒエミツリ		五
杜鵑	ヒエミツリ		後六至
鳥梓巢	ヒエミツリ		十
秋蘿蘭	ヒエミツリ		十一
繩	ヒエミツリ		十二
蜘蛛子	ヒエミツリ		十二

古今俳諧明題集夏部目錄

目錄一



相花	藤菊	新藕	卷心菊	野薔薇	蕃薔薇	蝴蝶花	嬰粟	芍藥	松魚	酢漿	阿未加
サニ	サ一	二十	二十	十九	十九	十八	十七	十六	十四	十四	十四
賴相	白薔花	藕荷	款冬	苦毛	野薔薇	加依久	虞美人	芙蓉子	溪鱸	燈	阿未加
サニ	サ一	二十	二十	十九	十九	十八	十八	十七	十四	十四	十四
撥桐花	海薔花	紫藤	菊	紫藤	紫藤	意波	鸞尾	蜀葵	牡丹	牡丹	阿未加
サニ	サ一	二十	二十	二十	十九	十八	十八	十七	十六	十四	十四

金銀花	剪春花	忍草	復猴	五月晴	檄	加茂足齋	復本立	葉櫻	滿庭枝	新生葉	新雄根
サニ	サニ	サ一	廿九	廿八	サ六	サ五	サ五	サ三	サ二	サ四	サ二
復芍	毛茛	鍋牛	乾河	水雞	同競馬	木下	新雄根	夏柳	常葉木	白葛	五月雨
サニ	サ九	サ一	サ二	サ八	サ六	サ五	サ四	サ四	サ五	サ六	サ八
紅藍花	百合	莎	水多	水多	水多	水多	水多	水多	水多	水多	水多
サ三	サ二	サ二	サ九	サ八	サ九	サ八	サ七	サ八	サ九	サ九	サ九

古今中外月通集 卷之二 目錄二

青田	後世四五	石菖蒲	世三	田植	世四
地膚	世五	耘	世五	藜	世五
紫茄	世六	苺	世五	早松葉	世五
蒙蔚	世六	水茄	世六	紅豆	世六
新竹	世七	菰刈	世六	裙帶菜	世六
粉圓花	世八	杜鵑花	世七	紫陽花	後世七
梔子花	世八	合歡花	世八	松栢花	世八
栗花	世九	梅花	世八	狗掃花	世九
青小椒	世九	青梅	世九	棟	世九
		小柚花	世九	青小柚	世九
		依身安農波	世九	枇杷	世十

葛	四十	山田御田植	四十	水窓	四十一
祇園沖興洗	四十	破	四十一	祇園會	後四十一
不夜城歌	四十一	不二詣	四十一	去用曝	四十二
不二雪消	四十二	雲峰	四十二	凍雨	後四十五
暑	後四十五	避暑	後四十六	賢者納涼	四十八
薰風	四十六	指扇	後四十八	園扇	四十九
鞍馬竹伐	四十八	竹更人	後四十九	樹香	五十
草	四十九	曝布	五十	清水	後五十二
後井	五十	殮飯	五十二	餉	五十二
葛粉水	五十二	冷餅	五十二	練岩毛子	五十三
瓊脂茶	五十三				

古今俳諧明題集夏部

更衣 并給 ころもくへ
あえせ

計のあはたるにくぞゑうへ
 といほどに柳うごくやあろえうへ
 君さやうかた偷ヌヒト見やこ改ヒトもかへ
 物おとを袖のそと出や又衣
 大橋へ甜乳アミにひひや去ろえうへ
 瘦るこもくはあろえうへ
 飛て見ろるの栞シ圖や又衣
 厨子クシくは虫出ほや更衣
 浴盆ユバシを出ろいろくやころえうへ

大坂 希因

芳室

凉徳

全

玉斧

梅路

谷水

加賀金沢

後川

洗雪

其云の秘案も跡をよみかへ
重なる乃を譲りよみかへ
押お戸もまゝに出たり言り
うの花は暖かさよ衣の
りふ見せむを華ハ短しころも
襟く小付がまゝ日や文衣
蒲公英は跡も飛つる更衣
芽野々々様はくやまろも
変そのうに出来たりこ語もか
むとびめはぬえは襟やま長業へ
肩衣乃依りおしるる長業加倍

六 榊
可 登
六 桝
一 紅
祇 德
竹 母
上 豊岡
意 山
伊 山
洞 居
笑 林

こそぐさにかたしぬあせり
春の後進しけり出たハ歩
冨ぬ戸をこししは給り
おあまびの川へちり給り
控て見せむを親む親あはせ
四條しるるものもや給り
夏瘦は一日齋ふあは歩下
腹福ぞ思案の途はたせりな
四方しるる鞠よりあは勢り
捕巻しるるの程は退く給り

去 路
可 登
青 藍
上 七平塚
魚 興
東 起
可 登
山 州
一 鼠
破 了
萩 丈

青簾

あをま
たれ

さうつふあに子尋の歌やま
女房を拵く出しりまきま
備例ハ山のそよぶやあをま

江希
戸金谷
大和
梅人

筑摩祭

つくま
ほはま

櫓 乃く湯にかく水るほつる

禹貢

灌佛

とて伐さかき木をまきめ
後が孫と老婆は家あま佛せ

江戸
龍明
為谷

よハ水の花飲しぎらま佛せ
経持と夏結まひや華浄堂
水草花もまらりま佛せ
襟くもまて人供し花房
音へくも穴に紙考りし佛せ
踊りて水をめく家や華房
今様の姿まや佛せ
蓮池ハまきまつち花房
歌ハまきまらりま佛せ
まろまにも様又まらり佛せ
若あまく門の袂新や佛せ

凉備
全
百卉
阿坡
去路
分江
柳波
雲郎
破了
信濃松本
友梅

古今片歌明是身卷之二

日吉祭 ひえま
庚崎の雨ははり〜日吉祭 東起

加茂祭 くもま
糸を マトリキ 奏せ〜てはつる 去路

當麻祭 たいは

苦蕒にもたむこ トケ 間や疎伏亭
交通へ来る息 フエ 地蔵や疎伏亭
武東起
因山

千米團 せんまいだん
千米團今や松栢の力に代り
上毛岡野
麥央

夏駒牽 なつこの

素約の虫や疎庵をおどろ〜
約素や奇藤に松枝の戸ハ志げ
駒素や松ハある〜に喜 ま 汶上

松前渡 まつまへ
麦積 マアテ 松の的や 仰が 嶽
奥仙臺
等水

古今片歌目録身卷二

麦秋や一尾此樽も有
色かゝり山あゝる秋
此の秋は白へど昔へは麦の秋
琴詩
筈叩
凉備

新麥飯 あんにひ
ぎやう

麦飯此あはれ也秋を更そふ
秋後道に傳
兔由

新茶 しんちや

去年に驚いたる秋 新茶少
新もたより一葉乃一葉秋新茶少
巡礼乃定て出あふ新茶少
圭宇
凉宇
西羊

山水 馬陸拂ふ亭 新茶少
奥州藤田 尹里

魚鮓 うし

不^{メテ}り腰^{メテ}うけ^{メテ}る^{メテ}魚^{メテ}鮓^{メテ}
菜^{メテ}より^{メテ}は^{メテ}地^{メテ}面^{メテ}く^{メテ}飯^{メテ}片^{メテ}や^{メテ}一^{メテ}飯^{メテ}鮓^{メテ}
伯州多里 秋月
駿河 巳令

杜鵑 ほととぎす

不^{メテ}り^{メテ}腰^{メテ}うけ^{メテ}る^{メテ}魚^{メテ}鮓^{メテ}
おも^{メテ}い^{メテ}若^{メテ}を^{メテ}ま^{メテ}う^{メテ}け^{メテ}ち^{メテ}り^{メテ}杜^{メテ}鵑^{メテ}
あ^{メテ}の^{メテ}ね^{メテ}は^{メテ}寐^{メテ}を^{メテ}せ^{メテ}く^{メテ}れ^{メテ}よ^{メテ}か^{メテ}ら^{メテ}き^{メテ}ら^{メテ}
傘^{メテ}此^{メテ}う^{メテ}つ^{メテ}て^{メテ}こ^{メテ}や^{メテ}ほ^{メテ}い^{メテ}う^{メテ}あ^{メテ}ら^{メテ}を^{メテ}
凉兔
凉備
素園
野坡

夜に初も寝れハ長一かき
ほの菜古雲踏はば
引す勢て見れも尻や杜鵑
松皮新靴やかき
かきまひだまの雲やわ
結ひはしそ皆さげ髪やほ
解魔法師
やあぶしを哀れとおも
うかきも嘘も古
書さしと櫓を熱く
作す度採れう
空つれと採りしゆく山や杜鵑

尾城 露川
可登
梅路
九阜
楚岫
百庵
涼傘
白枝
桐井
能登輪鳴
其葉

少りしあは度言を
歩の勢る水遊り
瀬田中橋を
大佛も重なる
相此の事
学ばく
ほとま
うけ
梅
ほとま
中と
後

加賀金沢 後川
同金沢 江夫
舍桑
下毛足利 太阜
梅志
岸鹿
江木 信州松本 鶴老
同 右右 兒
伊勢山田 東棠

古今片歌明是身卷之二

春間コトよりあふむく笑や不コトききに
あふりさ髪カミの行ユキ休ユキや不コトき次
ほとコトきり掛カケ摩マる年トシはありし時
たやコトをコト勢セふつやほとコトきり
春ハル葉ハへ粗ツ辛ツをコトたうコトきす
終ハジメ心ココロをコトまコトのコト間マほとコトき
夜ヨのコト友トモ捨スてコトうコト礼レやコトきり
舟フネ此ココ眼メをコトやコトのコト細ホソほとコトきす
ほコトとコト次ツ村ムラ二ニツツ急イサ快カイ中ナカ—
うコトあコトるコトをコトにコト寐ネるコト曉トキやコトきり
草クサれコト茶チャ此ココ一ヒト浦ウラやコトほコトとコトきす

杜 莫トモ
左 琴ササ
麥 林マキ
温 故ユヅ
素 花ソウ
讚 岐 高 松
周 雨シユ
越 後 高 善 寺
一 紅ヒト
江 戸 渡 魚カウ
伊 勢 山 田 卷 阿 陸
夏 陸

割 膝カりコたコ衣エをコト襟エよコトとコトきす
日ヒりコあコトるコト思オモひコトはコトほコトとコトきす
名ナをコトまコトりコトよコト心ココロ留トモもコトほコトとコトきす
ほコトとコトきりコト長ナガうコト居イるコトねコトとコトきす
万マンりコあコトりコト男オトコ周シユウ此ココ七シチ歩フやコトきり
とコト歩フてコトまコトとコトきりコト急イサ快カイ

一 鼠ヒツ
百 舟ヒャク
青 藍アヲ
冠 子カウ
乙 路イツ
京 風 狀キョウ

布 穀カ カ コ

かむカこコをコト衣エをコトまコトびコトいコトりコト飛トビてコトり
門カド志シをコト入イるコトあコトるコトこコトき
まコトてコトとコトきりコト急イサ快カイ

麥 林マキ
曾 平ソウ
涼 俗リョウ

古今片歌明是集卷之二

画馬廻るるり 位やかむことり
母乃とまろし叶ふもあふんことり
著^{イモ}讀^モの歌と君れハ井^イあり有^イ教
んことり帝^イや圃^イ此^イ然^イ乃^イ 著
かむことり舟^イもむうふ^イ名^イ小^イ居^イ
の世^イこごあさひしけ^イれも耳^イの取
なまばし山^イり景^イもんことり
旭^イほと人^イ去^イふあ^イむことり
笥^イたて居^イ依^イぬ突^イやんことり
葉^イ田^イ去^イたりふことりあ^イかむことり
午^イ時^イ飯^イ乃^イ談^イ合^イあや づんことり

可^{出羽秋田} 卿
東^イ 林
笑^イ 藍
青^イ 醉
鳥^イ 枝
白^{武騎西} 白
芙^イ 居
柳^イ 詩
琴^イ 魚
深^{越高津} 鷗
文^イ

ゆくもれも日乃結^イはうりかむことり
を^イそ^イる^イ人^イもお^イあ^イあ^イか^イん^イことり

冠^イ 子
一^イ 鼠

割^イ章^イ ぎやう

ふ^イと^イし^イて^イ見^イれ^イを^イる^イた^イあ^イめ^イき^イや^イう^イく^イし
新^イ鷗^イれ^イあ^イぬ^イ川^イ上^イ鳴^イし^イま^イや^イう^イく^イし
燕^イう^イけ^イハ^イ細^イい^イう^イる^イま^イの^イま^イや^イう^イく^イし
舟^イ舟^イ代^イ草^イに^イし^イら^イて^イま^イや^イう^イく^イし
う^イぐ^イひ^イす^イの^イ海^イに^イる^イま^イや^イう^イく^イし
拽^イ船^イ夫^イ也^イほ^イる^イ依^イる^イあ^イや^イう^イく^イし
船^イ並^イに^イあ^イや^イえ^イけ^イま^イき^イや^イう^イく^イし

禹^イ 月
可^イ 由
玉^イ 斧
洗^イ 塵
仙^イ 衣
雙^イ 飛
去^イ 路

古今片歌明題集

かゝるまゝの松たぬき登り村へ出候
塙橋や夕の霞うすしむ之夜もまじり
うはひもや画るまきへ方せうけて居る
梅垣や己う月不どかりのを冷し

涼素
涼俗
青藍
江舞巾

琵琶城のつひか

粟もせぬおまゝのほろひこか
卵のふもゝ家をもまやかしこら
卵も是れなういあふぬ

梁山
江戸奇雲
笑林

登蘭のまゆ

涼一も雲ささりやう蘭入り

柳雪

螢るほ

冷ひさうさるは見えぬほろひこ
乃終くうらうけてのくまう那
多れ奈い水あらしも礼も雲かぬ
淡紙へ光のりどもほろひこ
湖大御宿多きまうなたふの舟
羨雲人の一響もいふまうか奈
小鳥女此あ小いさうらうら
あけさうに女はのまむほろひ

李趙
去路
涼宇
其梅
涼袋
雪叩
杜門
白枝

宗舟を松へ朽きけりほるるこの子
糸くたふ心言残るに松くかたるふ
蒲の穂く焼くを四るほの流り那
隻袖此をやけりやうさふくうのふ
塀橋乃麻眼やぬきて飛つほるる
故懐くくく新母れ持たれそうふ
草花もをうう色飛つほるる那
小まきく焼くかまうや飛つほるる那
草花もをうう色飛つほるる那
浮葉れくく焼くかたるう那
かまきくくくくくくくくくく

麻父 雲郎 六柿 涼素 雞山 祇翠 竹營 越前 可昇 阿僧 加峯

潮河に浦くハこそ海不くはるる
うさまにつまみの出来は草小
草中に延る僧は焼く草う那
いくさひも橋のかく海不くはるる
にこそふをううは家根や飛ぶ草

涼儀 上毛前橋 不霜 素絢 笑林 青藍

蠅

靴のめは然くや煙の飛ぶく
雨の捲席度きうへをかりりら

去路 超波

蚤

古今片歌助題集卷之二

割練り候了や冬のころくゆく

江戸 得往

蛸 ぶと

蛸の唇ぶとにきりくきり

江戸 台渾

蜘蛛子 のこも

蜘蛛の子は皆可愛いわね

江戸 湖雲

蜘蛛の子やあまねかきり

東起

粘 鱗 けむ

如意輪の眉をたけしけむ

似竹

鱧 ぶと

龍を見て捷徑をうきはあり

大和芝村 林 殊

阿末加敷類鳴 漢名未詳

葉が鳴とおもひ色しあはか

涼 節

音かけ声はハハハハハハ

飛 良

松 魚 かつ

不吉は子に文あり

一 音

不吉は子に文あり

鬼 白

古今片歌明題集卷之二

鏡^{タニ}の山^ヤ呼^ヒれしとつ^ツつ^ツを
 可^カ涼^{リョウ}
 炬^{タチ}一^{ヒト}ふ^フか^カは^ハを^ヲ那^ナ
 百^{ヒャク}川^{ケン}
 初^{ハツ}多^タふ^フし^シあ^アし^シつ^ツを
 禹^ウ貢^{コン}
 あ^アけ^ケが^ガの^ノま^マぶ^ブま^マに^ニつ^ツを^ヲ法^{ホウ}を^ヲ
 涼^{リョウ}備^ヒ
 道^{ミチ}倉^{クラ}ハ^ハま^マく^ク青^{アヲ}を^ヲつ^ツを^ヲ神^{カミ}か^カの^ノを^ヲ
 金^{キン}谷^コ

溪 鯉 あゆ

溪^{セキ}鯉^リ一^{ヒト}の^ノま^マに^ニま^マり^リ水^{ミヅ}く^クは^ハま^マ
 近^{チカ}一^{ヒト}音^{オン}
 湖^コ野^ノ帆^{ファン}
 あ^アゆ^ユ初^{ハツ}や^ヤ物^{モノ}の^ノま^マへ^ヘ投^{ナゲ}く^クや^ヤ法^{ホウ}

牡丹

冷^{ヒヤ}ひ^ヒつ^ツく^クと^ト思^{オモ}ふ^フを^ヲお^オど^ドり^リ牡^{ウシ}丹^{タン}は
 雙^{スウ}飛^{ヘイ}
 ぬ^ヌこ^コは^ハ是^シで^デ日^ヒハ^ハ西^セへ^ヘの^ノく^クが^ガく^クは^ハま^マ
 上^{ウヘ}毛^モ前^{ゼン}橋^{キョウ} 雞^{トリ}口^{クチ}
 一^{ヒト}の^ノま^マに^ニま^マり^リ牡^{ウシ}丹^{タン}は
 子^コ永^{エイ}
 飛^{トビ}の^ノま^マに^ニま^マり^リ牡^{ウシ}丹^{タン}は
 兩^{リウ}石^{シツ}
 惜^{モシ}職^{シツ}に^ニ恒^{コト}爾^ニく^クや^ヤ法^{ホウ}は^ハた^タび^ビを^ヲ
 涼^{リョウ}備^ヒ
 子^コ金^{キン}は^ハま^マに^ニま^マり^リ牡^{ウシ}丹^{タン}は
 全^{ゼン}
 その^{ソノ}後^{ノチ}は^ハ十^{ジュウ}日^{ニチ}ハ^ハう^ウつ^ツに^ニが^ガく^クは^ハま^マ
 希^シ因^{イン}
 膝^{ヒザ}は^ハま^マぬ^ヌく^クは^ハ小^コつ^ツむ^ムは^ハく^クは^ハま^マ
 素^ソ輪^{リン}
 大^{ダイ}和^ワ橋^{キョウ}井^イ
 素^ソ輪^{リン}
 履^{ツクリ}者^{モノ}ハ^ハ法^{ホウ}を^ヲま^マり^リ牡^{ウシ}丹^{タン}は
 洛^{ラク}兒^ニ
 建^{タテ}つ^ツ先^{マテ}く^クは^ハ法^{ホウ}に^ニま^マり^リ牡^{ウシ}丹^{タン}は
 胡^コ周^{シュウ}

古今片歌明是集卷之二

びーら^カの^バ及へて^ツぬが^クん^ハ
 裏門へ^ハは^カ若^カは^カ出^カる^カ本^カ子^カ牡丹^カ
 目の出^カる^カ暈^カは^カ一^カか^カ若^カは^カ牡丹^カ
 目^カうつ^カま^カに^カあ^カら^カり^カは^カ瘦^カは^カが^カん^カ
 さ^カし^カら^カげ^カる^カ枝^カは^カく^カへ^カれ^カ牡丹^カ
 偃^カ臥^カを^カ存^カ乃^カか^カく^カる^カば^カた^カび^カう^カ
 杉^カ戸^カく^カ獅子^カは^カあ^カま^カび^カく^カ牡丹^カ
 停^カ年^カの^カあ^カも^カ奥^カあ^カれ^カが^カん^カ
 夢^カの^カあ^カも^カ奥^カあ^カれ^カが^カん^カ
 隙^カく^カを^カ庭^カに^カつ^カふ^カは^カん^カハ
 下総佐原 雞山
 一鼠
 其梅
 白陀
 李北
 凉宇
 麥舟
 下毛足利 可卿
 琴詩
 五城
 深竹

挿^カ巻^カに^カ柱^カの^カふ^カく^カ海^カ回^カる^カん^カハ
 岡^カ山^カを^カ登^カい^カく^カか^カく^カに^カ牡丹^カ
 上毛桐生 山州
 舊礎

芍薬

芍^カ薬^カや^カサ^カ日^カあ^カる^カえ^カを^カ家^カく^カる^カ
 氏金崎 立鼠

熒子花

遍^カ照^カハ^カ船^カも^カつ^カる^カ一^カ暮^カ子^カ也
 負^カふ^カこ^カ子^カは^カあ^カへ^カく^カ歩^カか^カれ^カつ^カる^カ
 け^カり^カあ^カく^カと^カ櫓^カを^カあ^カら^カせ^カる^カさ^カは^カら^カ
 用^カの^カあ^カら^カ水^カの^カそ^カも^カあ^カら^カは^カら^カ
 美濃 希因
 吟水
 雨鼻
 越後高田 梅雨

古今片歌明集卷之二
 古今片歌明集卷之二
 古今片歌明集卷之二

本り徳こるれまゝ居る昌蔭うそ
ちりりほりりひもある夢うれ
上むくう腐へ見えぬあふか那

備後福山
蘆道
伊勢井關
巴山

凉宇

罌粟 けし

罌粟れをもぬいねれ百に敷て居
徳ハ妹ぬ日吉れあふやけしれ舞
約朱の一日道——けしれを
足まゑ那入るちまわむやけしのを
蝶くれあきれく返りやけしのを
疵アツ当り風り糸りくあけしのを

凉袋
阿僧
さと見
凉袋
其梅
東起

敷るもれとソボ着て久しけ志乃本

凉袋

虞美人 びん

美人きよたふやめ歌時の秋涼

奥仙臺
丈芝

鳶尾 いら

紫イナ花傘や花もれやても歌う原し
いらちんや何をもとめやぐ家イナ棟の上

去路
李趙

蝴蝶花 げや

銅ハカ鉢り家ハカおり留ユまうやがれを

上毛高崎
巴穂

古今片歌明題集卷之三

加佐久留末

漢名 未詳

あはれそふて蝶をこ敷きや風くる後
なご白く新をまはしや風久るま
ひきこもほきぬもれ風くるま
路はまにおーやうれしあ風くる後
又さまは依茶の安敷やたぐま

江戸 花

武蔵宮 眠石

溜水

青藍

冠子

意波婦知

漢名 未詳

いしぬもや松北日陰乃く小きく
いしちや永收糸くほと長て居る

希因

和鳴

蕃薇花

やうび

堅るの心あふ岡門やとあーやうび

江戸 蘭臺

野蕃薇

はら

機ワ糸シのよけくサぬカもやむウゞヅ
同済ノに袖リことアはやハはカうウゞヅ

武杉戸

二毛

眠石

續斷花

たをど

刈にまゝもあもあゝびをうり花
伊の時まゝをうりや花あふ

大坂 温故

梅従

古今行状月題集卷之二

野燕麥 ちやひ

合子飲アハヲ狩ル水ヲ守シ葉ハひきまき
老トシ大ヨリにサららつついてちやひまき

沾雨
花明

苔花 こけの

若ワカ草クサあつまかしーこのちのまい
踏フあの又ハぬく水ヲ守ル苔ハまき
息イ杖シのうらりはらりや苔ハまき
ふで見まはる東の形や苔ハまき

江
借ト挂
乙路
文文体
双飛

卷心芭蕉 たまぐ

画エみのかごーと又ハこの芭蕉

去路

卷心葛 たまぐ

巻マ心シ糸イはら玉ヲ水ヲ守ル葛ハまき

河波徳島
来雪

歎冬 ふき

降フると傘ハひらいと歎冬

曹前小倉
如鼠

紫蘇 し

真マ日ヒおのれ色やし蘇ハまき

上毛前橋
不霜

古今片形明題集卷之三

新藕 はせの
又々孫
沟にくひい新蓮をむく糸うな

是利
雨石

藕荷 はせの
いさく

先花乃度とほ蓮れ浮葉外
飛石のちづれは蓮をくき葉外

涼依
後川

筒 たけ
のこけ

筒やみどりいおともたをりれむ
くけ乃こや姉妹あふまゝくハ親うは

常陸小田雞山
潭水

くけのこや兎の齒眼ハシア——
筒やみどりいおともたをりれむ
舟の子や長るに傳く枝う葉
たげれ予乃おろ——もやう冷塊牛
舟の子や喜み遊れり盗う水
筒やぬり冷り衣ハシをかきおハセ
筒や何まゝうまめて水ハシ
くけれこや何まゝとおもく水

嵐雪
去路
雲即
涼袋
李北
一鼠
奥列来湖秀
破了

篠筥 たけ
のこ

まぐ乃こや箱やうとと根も起ハシ

越中魚津
倚彦

まゝ乃こや 浦乃おろしに 船のつき

女 地錦

白荊花 まゝの

う乃むハ云にも 満ちぬりしあ
うのあやうくにハ 暈とるる照し
うけ花や 濡れ袖を 子きききも引
白荊花や 清くささ さまも
うまむや 枯くハ 折留まも
うのうれや 月あつ 枝折る忍
う乃即や 執りぬ 水もいこりれ

凉宇 楚岫 求古 鬼白 下流八百市場 凉袋 古由 武本 白水

錦帯花 つらゆ

神垣も 田舎 折れや 花うつさ
似せ乃又 挽く 簾や ぼろろ
むろろ ちぢの ころろハ ぶと 垂く

下毛那須 幽知

斗白 凉湖

桐花 きりの

堀切ハ 井戸に 棲る 葉きり 花
桐乃む 小き 木の 枝を 枝を
枝ハ 木に 似きと せ 枝きり 枝を
きつ 葉ハ 鳴し 小き 桐の 花
葉の 昼の おろろ や 葉を 枝を

門瑟 凉袋 白枝 凉宇 胡周

上りしも鏡橋の重き月うらむる

芭叩

新雄楓

へりか

御水流りし水橋に絶る新雄楓
鞠垣下へ婿乃配りや日かへ
乳房くく暇も床やわづらへ

涼袋
希因
去路

葉櫻

いそ

葉桜や中乃人老あぐり葉
葉さくくくふ田一葉
葉信くくくやもふあはれぬ水音も

希因
似竹
雞山

實櫻

いそ

実さくくくや花踏し思ふ志さくく
くくくくや花踏し思ふ志さくく

温故
琳李

夏柳

あつや

夏柳の枝に花さけりや夏柳
花たさくく花柳あつや
吹れくくくくくくくく夏柳

一鼠
涼帝
乙路

夏木立

あつこ

古今片歌明題集卷之二

むふにも永待人也 奈つこころ
をうつはくも 灰毛や夏あま
皆散る馬士乃 素紙お夏も
あまふ子仲をにハおし 夏木立
手枕す 遠の痕や 奈川あま
菅笠とさあ くのや夏あま
目も儘く 松と 殺す中あま
喜うあま 流れハ 奈川あま
又つあま 毛髪うぬ帆 奈川あま
泉あま乃 底ハ 奈川あま
望遠望 佛の 奈川あま

可登 常陸小田
後丘 可由
涼袋 双飛
去路 三楚
白枝 荻丈
琴詩 起鳳

虫なり 虫は 芥は 砥もや 夏あま
ゆふが 旭に 奈川あま
枕工 結いひ 奈川あま
奥深し 神を 奈川あま
停年乃 晴し 奈川あま

里卿 瀾城 李址 斗白 平胡

木下園 中 白

管杖 築き 風を 奈川あま
凌宵も あま 奈川あま
下馬 志く 奈川あま
初進も 御首く 奈川あま

破了 雨篁 大阜 阿波日如佐 文水

梅法に日此愛ひあはさるるき河を
ささるや磯にまやの夜 磯 鷹
山門よりまつくさるやささるる
蜀さるれとあくるささるる
東陽の夢さるるささるる
ささる川あはさるるささるる
ささるるささるるささるる
ささるるささるるささるる
ささるるささるるささるる
ささるるささるるささるる

秋干 武杉戸 雁志 乃飛 全 千竹 不席 司鮫 免士 京 負徳 可也 朱仲

王子にぬけぬきあはさるるささるる
影子にぬけてささるるささるる
尺八持中人徹ささるるささるる
ささるるささるるささるる
五月雨あはさるるささるる
五月雨あはさるるささるる
五月雨あはさるるささるる

王子 凉袋 破了 黄牛 笈林 凉袋

五月園 やつき

紫ささるる梅あはさるるささるる
梅あはさるるささるるささるる

石見大回 邦石 孔圭

古今片歌明題集卷之二

水鶏すゐけい

控マシくしにありて乃はうね秋アキ雞トウうさ
鷄トウもたけげは起オキるくひな、うさ
起オキるも起オキるを起オキるも起オキるあはれ鷄トウは
る形カタ形カタ足タラシくさにあける袂タビ雞トウは
之コノ密ヒソカの意ココロと起オキけをくひなうさ
くさくさく水ミヅつるまきくひなうさ
くさくさく月ツキ見ミくくさくさく鷄トウは
水ミヅみ起オキるくさくひなうさ

青藍 萩路 二毛 涼傘 希因 可枝 伴寛トウ之

煩鷺ワザシ

くろ

思オモうもや沼ヌマ田タ子コ割ワれく行ユクきくひ

周防すおう吹フキ

水鳥ミヅトリ巢ネ并ナド浮ウキ巢ネ

鼓ウタけとも卵タマゴハハくくぬぬくひなうれ
水ミヅ鳥トリの葉ハはくくくくきき巢ネハハ
くくままああむむくく船フネののふふるるふふ涼スズシ巢ネハハ
窠ネるるくく巢ネややくくららきき危カモのの考カウ

涼袋 双飛 一色坊カゲ加賀カガ籬シ守モリ

夏鷹ナツトカ

鷄トウ奮フツれれ中ナカもも徽カヒややくく棗ササの中ノナカ

維鳩

毛脱鳥 とらぬけ

風乃ちよのちと友とや好ぬけを
像寛と好も毛脱くは好ぬけを

兔洲
西羊

喚起鳥収音 うぐひま

うぐひまや子にうひまけりよとて

白枝

復穢 うつせ

野糞に吹くは好ぬけを
文りや夏の穢場と大にわたり
若乃月よ火華や若乃山まも

正秀
梅路
破了

蝸牛 うごつ

雷より角びとびとあやうつ好む
角むもびとあやうつ好むはえと端牛
黒木より影へ流やうつ好む
かこつあやうつ好むと持あま
あはれはとく貫女も角や端牛
柳よりうつ好むと端牛
むせは好むと端牛と端牛
播鐘乃好むと端牛と端牛
若とくつ好むと端牛と端牛

尾張
一水
去路
能登孫
一晚九
禹月
涼袋
阿坡
一音
紫苑

乙 始
如 峰
鳥 明
百 井
涼 宇
示 行
乙 路
乙 瀾
江 城
乙 始
如 峰
鳥 明
百 井
涼 宇
示 行
乙 路
乙 瀾
江 城

乙 始
如 峰
鳥 明
百 井
涼 宇
示 行
乙 路
乙 瀾
江 城

莎 雜

おは
おま

千 山
千 林

千 山
千 林

避 蚊 火

ユラカホ

希 固
射 堂
子 鳳
玉 斧
洗 雪
涼 傘
五 衰

希 固
射 堂
子 鳳
玉 斧
洗 雪
涼 傘
五 衰

涼一と汚一くのがるやうな
涼一と後子とくうの除く
夏此秋と火輝に遠くかや
姑乃あき起るや
秋婦乃あきく
一とあきあ話の消く
後子れ園おけく
出旅婢女此館こそ
喜いゆと大あへ

秋午
雙飛
一紅
蓮之
其梅
白志
江戶
尺
漁遠
龜文

乾河豚 いぬ

風俗出乾くもあや
涼一と後子とくうの除く
夏此秋と火輝に遠くかや
姑乃あき起るや
秋婦乃あきく
一とあきあ話の消く
後子れ園おけく
出旅婢女此館こそ
喜いゆと大あへ

乙路
東鳥
青藍

百合 ゆり

日一とけさおわえ
もあおもあ欠の
瞿妻此遮陽も
鷄に何とあほ
折るあく人へ
手杖の影へ

涼袋
吳江
二毛
雙飛
上毛翁
友枝
冠子

古今片断明題集卷之三

前春蘿 ひげん
能くふはちやーかひのむねあ

千林

復菊 かづ

交葉やま川海と見えく
復菊に委まづりやまほら
あつきくや杖つくわの風は

何坡
希因
花明

萱草 あしはら

横ふくく藁荷もどーくはれ

汶上

此ちりも今ハあはれ
横らるるやそーも忘れ
今知し思くこやうなむな

去路
近江日野
士高
凉宇

金銀花 キンギンカ

花よあはれ名馬の殻や
藤天蓼 あまた

此君
周防三田尻
楽下

あつてひや嵐きくひ乃をに

奥列来折
上而

地膚 きん

は きん 中 ちゆう 以 い れ れ 階 かい 除 じゆ 掃 そう も も ぐ ぐ 氏

上毛高崎
麦風

莓 ばい

袂 たもと 乃 の 出 で る る ゆ ゆ く く 心 こころ ち ち ごと ごと くな

出雲大社
も も ち ち

早松草 さまつ

早松 さまつ け け か か き き ち ち け け 言 こと 事 こと も も 松 まつ は は ち ち 里 り
老 らう 大 だい 乃 の 妙 めう ち ち 捨 すて る る 子 こ 松 まつ 草 くさ

武加須
晴山
涼戸

紫茄 むらさき

び び

葉 は 身 み に に も も 色 いろ 中 ちゆう 酒 しゆ 中 ちゆう 一 いつ 乃 の 印 いん 乃 の 茄 か

肥前長崎
里楓

葉 は の の 妙 めう 心 しん 乃 の 松 まつ 中 ちゆう 印 いん 乃 の 妙 めう

貞休

魚 いさな 板 いた 乃 の 中 ちゆう 乃 の 妙 めう 心 しん 乃 の 印 いん 乃 の 妙 めう

百夫

圃 ほ に に 今 いま 乃 の 妙 めう 心 しん 乃 の 印 いん 乃 の 妙 めう

太呂

十 じゆ 乃 の 妙 めう 心 しん 乃 の 印 いん 乃 の 妙 めう

下毛那須
斗

水茄 みなか

印 いん 乃 の 妙 めう 心 しん 乃 の 印 いん 乃 の 妙 めう

涼俵

豇豆 じやう

尺 しゃく 乃 の 妙 めう 心 しん 乃 の 印 いん 乃 の 妙 めう

上毛高崎
把菊

古今戸部明集卷之三

あまのこをよおさるささげうた

雲郎

粟蒔 あまのこ

粟まきや 鶯乃捨ひりたりぬ中

上毛高崎 自楽

菰川 よこも

公使の如世もあまのこ菰川

豊前小倉 李完

裙帯菜川 りびめ

まがらびとてあまのこ裙帯菜川

佐渡 祇十 南竹

水底の掃蕩もあまのこ

新竹 こたけ

縮あしに隠れおぼせこと

武八王子 進瓜

新舟や 利休とあまのこ

双飛

今脱と袴もあまのこ

笑林

柳ほど出てあまのこ

凉袋

蟪蛄乃後こゝ後ハもあまのこ

雀阜

新舟や 西やあまのこ

青藍

風どろり葉を吹出せやあまのこ

素園

尺八乃ひひあまのこ

大和 珈凉

古今和歌集卷之三

千代

さ〜〜とさ〜と的や〜〜

江戸 千梅

新井や花こが〜〜

帯河

ま〜〜る花も松ふあ〜〜

上毛前橋 一鼠

新井や物忌のよふも低〜〜

胡曉

杜鵑花 さつぎ

五〜〜も深ぬでハ〜〜

江戸 女野菊

下晴〜陽乃〜

涼洲

紫陽花 あぢら

紫陽花乃下川〜水戸〜

大阜

あぢらさお〜 飛石〜川〜

和水 紫苑

粉團花 てま

乳母乃手と休めに〜

由戸 去路

合歡花 あはれ

杜鵑花〜 合歡花

大和柳本 一紅 奥州鼓園 古笛

古今戸部明是集卷之二

傾城ふおころされと見や 祇ふのむ

涼宇

柘榴花 くちあざ

碓も如ふ 荻指ハ合少くも花ざら後
実のさきく 突ひうけしあむざら

大坂 すの 芭叩

梔花 のくちあふ

くもなりやうみむく合親とみゆの友

筑後久留米 蘿洲

橘花 とふたち

橘やむういゆちの家ふさく

再可

枸橘花 からたち

ううたらや 苦ううひやを 殺うみ

奥州栗折 得秀

栗花 くまの

傷損乃なる夏花 秋そや 栗のむ
みはひううあくやう栗乃

鳥林 双飛

佐香幾農波奈 漢名 未詳

人あう 收神や さうきくとらぬの友

江戸 介我

棟 あふ

らん^レアと棟や雨乃むく^レと

とせ派

南天燭花 あまてん

たれ^レ乃む^レやさ^レと^レ甲^{サイ}と^レ冨^レと^レ並

雲和

小袖花 な

偷^{スロト}思^トを^レあ^レと^レた^レ少^レ花^レ袖^レ

去路

青小袖 あ

量^レ乃^レ鼻^レく^レく^レふ^レく^レ喜^レ小袖^レな

涼袋

下枝^レー^レ持^レと^レと^レ並^レと^レ收^レ青小袖^レ

涼宇

青山椒 あせ

息^レつ^レい^レと^レ國^レ能^レ活^レと^レ喜^レ山^レ椒

維鳩

青梅實 あめ

ま^レ梅^レや^レ男^レ能^レ凡^レも^レ涼^レある^レと^レ活

双飛

枇杷實 い

枇杷^レに^レ実^レの^レ入^レと^レ也^レ味^レと^レ扱^レの^レと

近江膳所
曲翠

梅好^レの^レ美^レと^レ也^レ枇杷^レ能^レ冷^レひ^レと^レ也

東起

古今戸哥明是集卷之二

古今戸哥明是集卷之二

甚のい

素紙実中一紙くハ夏も茶餅

下毛足利 遼雨

山田御田扇 やまたのい
あかぎ

御田御持取人ううあふうあ

幾曉

住吉御田植 むきよのい
おんたうえ

吉日紙柱女とよご辰たうえうれ

ゆりけく乳もへもご辰田植うえ

泉州堺 南天
下総佐原 鬼工

祇園神輿洗 ぎおんのい
あらひ

清水くつく涼水の葎中御雲昇

京 一丸

醴 ひけよ

梅乃来く元今きくあひくう海

豊後球珠 馬負

氷窟 ひむ

水も水く包か成やひむろもろ

忘れくハ梅えよたうや氷窟ち

衣乃人偏結く氷窟もあ

二日く涼み出るや氷窟守

涼依 麥水 瀾城 破了

古今月題集卷之二

四十一

古今戸部見身卷之二

不盡垢離 ぶじん

富士垢離や家とけいふ肥上り
垢離へ来て是夜よりあふにけり

江戸

孤屋 涼俤

不二詣 ふじま

物言を解ゆきやふふの結
一日孤きやむいふや不考語
山の背に夏はくがゆるあま

乙路 下見川
巳十

東起

祇園會 ぎんを

祇園とやあまらけいふにんこ

如水

祇園とやあまらけいふにんこ
祇園とやあまらけいふにんこ

洗市 六棟

不二雪消 ふじの

今解る雪やあまらけいふにんこ

涼俤

富士初雪 ふじの

富士初雪も降るふにんこ
富士初雪も降るふにんこ

涼俤 西羊 麥汀

古今戸部見身卷之二

鞍子花乃落吹りて河のささ
腰掛子袂のさぐねあけさの那
似城子鏡へかよふ河のささ那
蜂啼き河のささうきあけさ
不二の雪たしにささあつさ
風鈴もささ忘れさるあつさ
射子乃一時にささあけさ
新子ハ解りてささあつさ
清去の又えあつてあつさ
才俊もつきて裸けあつさ
おしらの塔元とささあつさ

鳥林 涼宇 李北 止弦 雀 江戶 加賀金澤 布流 蝶角 秋午 双飛 京 庶千 如水

あるはれさ法とささあつさ
まらさる鹿りてささあつさ
卷丹乃息吹りてささあつさ
淵珠子好織をささあつさ
後安に解りてささあつさ
今破れとささあつさ
あけさ目やうめささあつさ
新婦乃ささかくささあつさ
粘子ささあつさ
木梳りて油乃熱ささあつさ
牛の背に日法乃ささあつさ

能登七尾 北種 越中 虎岡 鳥角 雲郎 江初八幡 帆保 兔士 全鼠 一鼠 全鼠 雲和 古由

川中に艾の如び於あつとくな
新株とくまきり見くまきり
影よつく影一節如あつとくな
あつとく影一節如あつとくな
津金為乃可ちりしあつとく
川よ子の四條と通るあつとく
砂浜乃多きくまきりあつとく
之井も如積ま日乃くまきり
雲霞へ美人くまきりあつとく
飯懐ひとくまきりあつとく
巻柏乃糸くまきりあつとく

深魚 西羊 春曙 素園 示行 竿秋 輕素 眠居 笑林 眠棠 雨望

形唯く柳くまきりあつとく
登中く麻殿乃おほきあつとく
一志きりあつとく

常陸真壁 武本庄 女佳 月 橋 五 負

雲峰 くもの

跡社に古穀くまきりあつとく
蛤乃博あつとく
霰雨ハまご流くまきりあつとく
逆くまきりあつとく
羨望くまきりあつとく
けあつとく

北枝 其汀 川夕 麥林 涼体 梅路

魚 驚く 宇治乃夕日也 くの 魚
海あまく物とも見 魚 魚 魚
るに 一 牛の 魚 魚 魚 魚
湖の 魚 魚 魚 魚 魚 魚
暑き日 魚 魚 魚 魚 魚 魚
涼 一 魚 魚 魚 魚 魚 魚
野も 魚 魚 魚 魚 魚 魚
西行と 魚 魚 魚 魚 魚 魚

宜中 野上 野上 長之 大阜 笑牛 秀陽 一 兔士

凍雨 だゆふ

凍る 戸 人 戸 も ぐ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

珈涼

ゆ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ
凍る 戸 ぬ ぬ の 日 ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ
凍る や ぬ 戸 ぬ ぬ の ぬ ぬ ぬ ぬ
ゆ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ
凍る や 冷 一 一 ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ
ゆ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ
ゆ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ
ゆ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ
ゆ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ
凍る ぬ ぬ 一 ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ
凍る ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ

一 鼠 青 戸 文 六 乾 去 越 鶏 泰 龜 破 了 涼 袋

古今川齋題集卷之二

四十五

中のたぢやや舟中一孤蝶人よ泣く
凍るよ蓮へ丁班と上ヶくゆく
雨石

薰風 かぜの
ゆる

空はく出く夏の盡や風意秋
長崎路 圭

避暑 ひさみ

涼一さや袖へちのそく山を敷
涼一さよ水乃中ゆく夕か
夕よある物し〜〜ゆ〜〜み
こおもれとおるよ石あや夕〜

涼袋
全
止絃
許六

護朽珠の梅摩ろ〜〜さ〜〜う
あ〜〜た石孤通出ま〜〜み
川風孤鬱と判〜〜むや夕〜〜み
磯麿の葉へ卵も〜〜さ〜〜み
終末乃紅へあま〜〜み
桂仕士の人〜〜さ〜〜み
恥恥子汗ねぐは〜〜み
草とけを解乃落家〜〜み
床〜〜み
葉枯れ〜〜み
宛持橋〜〜み

蘆帆 能登備修
免舟
輕素
竹浪
琳李 上列高崎
湊城
怜也
素園
白枝 江戸
紀影

あふぐくと 鴨 拵乃下 一 毛 玉 丸
涼 一 毛 紙 拵 一 毛 玉 丸
替 馬 拵 二 足 拵 一 毛 玉 丸
圓 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
絢 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
涼 一 毛 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
新 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
涼 一 毛 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
衣 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵

免士
雨篁
見風
全故
温故
冠子
越後高田
既侑
希因
岷郎
麥舟
江戸
由林

あふぐくと 鴨 拵乃下 一 毛 玉 丸
涼 一 毛 紙 拵 一 毛 玉 丸
替 馬 拵 二 足 拵 一 毛 玉 丸
圓 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
絢 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
涼 一 毛 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
新 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
涼 一 毛 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵
衣 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵 拵

李 止
一 鼠
松前 江
加賀金沢 川
汶 上
梅 里
杉 町
深 魚
下総多古 雪 骨
常陸小田 素 考
武赤山 免 山

角^ス能^リ人^リ能^レ裸^ク一^クも^もみ^もな^る

文史

警者避暑 おびしの

吾^もと探^るる^る文^を於^ても^もこ^の那^ら

古由

鞍馬竹伐 くらまのたけ

竹伐^はけ^きま^のた^けや^や若^く新^{しく}い^ち中^に

丹後 扶風

摺扇 あふき

孝^{けう}行^{こう}の^の蚊^か帳^ま乃^はふ^くれ^るあ^ふき^うる^る
後^{のち}う^らも^も鬼^{おに}の^のそ^よふ^く何^のあ^ふき^うの^の那^ら

一鼠 為谷

お^のこ^のも^も蜜^{みつ}乃^はぬ^ける^る何^のあ^ふき^うの^の那^ら
系^{けい}流^{りゅう}つ^つ活^{かつ}り^り来^きる^るあ^ふき^うの^の那^ら
も^もち^ち之^のて^て名^な無^む教^{きょう}多^た何^のあ^ふき^うの^の那^ら
折^おる^る折^おる^るや^や折^おる^るあ^ふき^うの^の那^ら
こ^のあ^ふき^うの^の那^ら画^え池^い暑^{あつ}き^き何^のあ^ふき^うの^の那^ら

眠石 榎雪 信列松本 琴時 奥州保原 玉川 雀阜

團扇 あふき

老^{らう}翁^{おう}乃^は名^なを^をこ^のく^く先^{せん}く^く名^なを^を常^{じょう}毎^{まい}日^{にち}
呵^か不^ふ耐^{たい}極^{ごく}子^こ能^ねあ^あハ^ハぬ^ぬる^るち^ちハ^ハの^の那^ら
榊^{せき}梯^た乃^は破^やる^る不^ふ耐^{たい}極^{ごく}子^こ能^ねあ^あハ^ハぬ^ぬる^るち^ちハ^ハの^の那^ら
折^おる^る何^のあ^ふき^うの^の那^らハ^ハの^の那^らハ^ハの^の那^ら

双飛 加賀山中 山隣 破了 祇壺

牧中火折曲りたるを玉露庭に

湖十

簞 たうむ

あつむ心結つ川もあつたうむ
冷つこも一橋の陰やたうむ
内外に寐物汗やたうむ
紙乃飛ぶ懐沙一たうむ

青藍 式羽生

我后

可也

西羊

竹夫人 たうむ かたごき

竹夫人のよにまゝとほひ一たうむ
夏ハ改弦うらゝ居るや一竹夫人

涼備

維鳩

涼く寐る猶乃命婦や一竹夫人
まゝられこゝろよきり竹夫人
竹夫人いびき嬌ひ花むつち一
抱膝やどらう向うも雪の膚

上州富岡 雲 岬

越高田 見 風

素 琴

鼠 丈 イセ

掛香 かけ のう

懸香也一あへむえなうぬ人でま一

季 吟

浚井 はら はら

浚井や夏水く瓜をワらう

兔 士

曝布

もろく於る乃ち於るやきく
喜久山乃新先事くけく
敏能たる於母中乃極やきく
松うげもきくこれきく

上列茂國 椎 雨
下総佐原 四 孔
長崎 破 了
宇 鹿

清水

山の山志をり出く名清水
乃室口 山志をり出く名清水
立よ海と見えく遠けく志く
魚をりり事言もく收信もく

兔 士
温 故
涼 袋
武村 露

人乃乃流くハもれく
澄きけくたふくおもく
汗りき能無く水く居る志く
於禮の後へくこむく
玉簾へ極極く一能志く
一口能物持く能れく
一口ハ系能へ吐く
松葉能 松葉能
冷能おく能
能く来く能
飲さく能

上毛 涼 帆
伊勢 馬 曹
武 律 水
武 百 道
常陸府 泉
素 琴
雨 篁
洗 雪
全
李 址
涼 袋

後々馬路新出さし一々の
 先達乃か少りて志すし一々の
 剛力孤治掌る者言一々の
 判刀と笈しつ切つて志すの
 見しゆけと鏡乃たお新清水
 不為新新振むるの志すの
 静候一々の志すの
 大名乃よどして志すの
 分掌孤言と陳こおし一々の
 解去孤同乃動くあり一々の
 路候へ参りし物新し一々の

一鼠
 文東
 東起
 輕素
 未了
 江戶 麥水
 扇裡
 入楚
 能登七尾 恒考
 秋午
 買明

振袖也後しむさぶ一々の
 大務し志すの一々の
 お十くと馬へ費す一々の
 望乃端と岩乃く一々の
 山を眺む新えく一々の
 岩にさく志すの志すの
 空へ月ととく吸ひし一々の
 飲む信む人と見おく清く水
 湯杖を思ふ乃捨おし一々の
 新既始函し傲新し一々の
 貯く来た息し一々の

一紅
 瀾城
 白枝
 祇業
 以秀
 古硯
 画洲
 可卿
 奥列福嶋 兩可
 柳水
 斗光

菊^{ツキ} 秋^{アキ} と 吉^{ヨシ} 枝^{エダ} 乃^ノ 奴^ヌ 一^一 三^三 斗^ト 十^十
木^キ 客^{キヤク} 一^一 三^三 斗^ト 十^十 岩^{イハ} に 日^ヒ の 淺^{アサ} 清^{スミ} 水^{ミヅ}

葛粉水 くづど

葛粉水^{クズド} や 唐^{カラ} へ 居^イ 葛^{クズ} 枝^{エダ} 乃^ノ 奴^ヌ の 一^一 三^三 斗^ト 十^十
葛粉^{クズコ} の 一^一 三^三 斗^ト 十^十 小^コ 指^{ササ} 乃^ノ 奴^ヌ も 一^一 三^三 斗^ト 十^十

瓊飯 くづめ

瓊飯^{クズメ} の 友^{トモ} や 河^{カハ} 孫^{マコ} 乃^ノ 奴^ヌ を 一^一 三^三 斗^ト 十^十

餉 かひ

山城深州 元政

大津 乙列

五 棗

斗 十 五 仙

紫^{ムラサキ} 年^{トシ} 出^デ 僕^{ボク} 一^一 三^三 斗^ト 十^十 東^{トウ} 奴^ヌ

瓊脂菜 くづにん

交^ウ 色^{シキ} 賣^{ウリ} 乃^ノ 奴^ヌ 一^一 三^三 斗^ト 十^十 祇^{ツキ} 巫^{ヒメ}
交^ウ 色^{シキ} 賣^{ウリ} 乃^ノ 奴^ヌ 一^一 三^三 斗^ト 十^十 祇^{ツキ} 巫^{ヒメ}
交^ウ 色^{シキ} 賣^{ウリ} 乃^ノ 奴^ヌ 一^一 三^三 斗^ト 十^十 祇^{ツキ} 巫^{ヒメ}
交^ウ 色^{シキ} 賣^{ウリ} 乃^ノ 奴^ヌ 一^一 三^三 斗^ト 十^十 祇^{ツキ} 巫^{ヒメ}

其^{ソノ} 角^{ツノ} 元^{ゲン}

去^ク 路^ロ 貞^{テイ} 佐^サ 山^{サン}
去^ク 路^ロ 貞^{テイ} 佐^サ 山^{サン}
去^ク 路^ロ 貞^{テイ} 佐^サ 山^{サン}
去^ク 路^ロ 貞^{テイ} 佐^サ 山^{サン}

冷餅 ひやむぎ

古今事類賦類集卷之三 五十一

鷓鴣川

涼しき水はわくわくもあつてさうさう
皆麻をくまへぬ火の川さうさう
光の才か子にさうさうぬさうさう
親とと見つけるとさうさうさうさう

梅路 涼袋 免士 眠棠

川漁か

川がやや揺りあとの舟材さうさう
川がやや揺りあとの舟材さうさう
川がやや揺りあとの舟材さうさう
川がやや揺りあとの舟材さうさう

長崎 涼袋 越前 柳里 越前 柳里 越前 柳里

川漁や柳の蔭り人のあな
川漁や柳の蔭り人のあな
川漁や柳の蔭り人のあな
川漁や柳の蔭り人のあな

燕石 加金沢 岬呂

瀛鱈 おきな

瀛ちち海の小舟ぬさうさう
瀛ちち海の小舟ぬさうさう
瀛ちち海の小舟ぬさうさう
瀛ちち海の小舟ぬさうさう

汶上 田雲全市 楚梅 多少 凉州

鯖釣

釣たさうさうさうさう
釣たさうさうさうさう
釣たさうさうさうさう
釣たさうさうさうさう

肥前平戸 楚外

海母捕 くらげ
海母とら 魚がら くらげ

噴岐高松
爐峯

萍 うき

岸やうきハ実なる月影なり
うきうきハ 瀬 うき くらげのうき
岸や 院院のうきみ くらげのうき
うきうきハ 渡 うき くらげのうき
うきうきハ 魚乃 棲 スミカ 八重 萍
うきうきハ くらげのうき くらげのうき

希因
全 素 雙 江戸 換 大
飛 後 飛 鵠 阜

うきうきハ 一 艘 うき くらげのうき
うきうきハ くらげのうき くらげのうき
うきうきハ くらげのうき くらげのうき
うきうきハ 柳 うき くらげのうき

乙路
麥 林 李 北 洗 雪

藻花 もは

藻花 もは 一つ もは くらげのうき
藻乃 もは くらげのうき くらげのうき
藻乃 もは くらげのうき くらげのうき

江戸
群 午 青 藍 双 飛

菱花 ひし

藤乃涼涼取やうのひーの魚
夏秋形一後流中一美乃花

律國魚崎
瓦冷

萍蓬州 かろハ

かハ却事也一掃身をつきに出る
岸、蓬、まの也一魚とれども物とむら
らハほまは猪頭も流一も乃こ
かハ却事也一孩一子一取と取らり

加賀金戸
岸呂

東奴
希因
素堂

蓮花 はちの

東乃あけ新糸の志うけやはす如母

志山

水多れ卵もろけろ花れとれ

芋魁

水多れ卵もろけろ花れとれ

洗雪

剪刀州 おもた

ねもろい也一解ちの音刀にあうとり

肥後八代
左嵐

鷺鷥州 うさぎ

鷺鷥のまの也一旋月をかろくももなり
窟子あまの也一賜乃つらんぐ於くり
さきまの也一遠見つでいぬくみる

相生
宇冲

肥前
尼紫
汶上

瞿麥 子こ

ちんぐー ー 子牛とくぐりくぬるを
あでー ー 輪つふさきとちん

破了
冠子

風蘭

風葉や夏枯衣^{イカウ}茶へやえりーまる
風蘭や映た心象とあげりゆく

上も下仁田
梅布
維鳩

地參 っりさ

あやもきま ちや っりさのらと備々

羨濃関
李仁

鋸齒葉景天 さまん

気極く毛虫とほくあきまんま

汶上

射于 ひあ

ひあおまや 虫枯^{スガシ}とわひりくそ
飛河^{ミナガキ}や 一ツさやあり

出羽
涼傘
風草

旌節草 くろん

くろんまあ 大もきく ぬ林^{ハヤ}草^{クサ}の甲

杉路

ゆふのやや月かろごと白粒あま
臺の魚もや好華あまぬ魚も
ゆふのややもを好むを人の家
臺の魚もや瀬もあらさげ人も好む

能登孫治
具
越高田
李
羊

大至
眠棠

匏花 さくさく

うづひも花さるる盆イレモもひさご
糸も乃花ほごさそぐぬひさご
まゝの家のさくさくもひさご

笑林

上毛瀬戸
州
志

凌霄花 のろ

凌霄花さるるやういく地乃

下総佐原
思
明

向日花 ひま

日おりあや一むくさめさうら

芭
叩

草綿花 たふの

是見あま白もさうはさう
今乃日一ぬくめさうはさう
姑一ゆわさうはさう

鬼塚
式用戸
共
葉

伊勢山田
文
史

茅膏菜 まぐさ

古今和歌集卷之二十二

本はがすの作通が出入り担もべり 李北

天満祭 まつり

水ミヅハ水ミヅハ水ミヅをつくまはる水
提ヒキ燃ヒキで水ミヅもよめよはほつりうを
一鼠
提ヒキ炎ヒキをよめよはほつりうを
一鼠
子コ教サキの花ハナも飛トビや梅ウメはく
瀾城
梅林

住吉祭 まつり

死シ橋ハシ順マツ まつり
二毛岡野
十雨

御稜 まつり

海ウミ山ヤマにおおきく水ミヅもみとさか
大至
海ウミのノおお小こ見みくく路ちやや濟し後ご川がわ
田社
是こすすとと夏なつににももととつつ津つ後ごにに
涼儀

